

葉山町『四年と百年』ビジョン 目標達成に全力で働きます

公約の全貌はコチラ⇒



※討議資料 2023年11月 山梨崇仁

私の葉山町ビジョン

- 一、(健康・福祉・ウェルビーイング)
葉山びとは、人とのつながりや地域を大切に暮らす、この土地が自然に包まれていることに感謝して、それを守り、そしてそれぞれが幸せを探せる
- 一、(インクルーシブ、ダイバーシティー)
生まれや育ち、見た目や趣向など、人との違い、そして成長や生きるペースの違いを子どもから大人まで互いに尊重できる
- 一、(社会福祉、教育、そして将来への希望)
健康で長寿に生き、葉山で子どもを産み、育て、育ち、自らが育って良かったと思える
- 一、(地球環境への貢献)
脱炭素、環境保全に取り組み、地球規模で考え行動し、発信する
- 一、(防災、減災の強化)
人とのつながり、そして訓練で災害に強く、あらゆる想定と備蓄ができています
- 一、(経済的自立と自律)
国や県、近隣自治体と対等につながる、葉山町ならではの自主的なまちづくりを進める
- 一、(責任を果たす感動公務員)
人々と信頼でつながる役場であり、役場職員は笑顔と愛で働いている
- 一、(世界標準)
広く世界とつながり、葉山びとがいつでもどこにいても誇れる町である
- 一、(協働の地域まちづくり)
先の見えない、変化の激しい時代にあっても、互いに協力し、町のために行動できる
- 一、(高質な文化の保持)
文化、芸術、伝統を重んじ、余暇と憩い、安らぎと癒しを大切にこれからの100年を想う



政治指針

- ・将来に必要なことは、選択が今の時代に厳しいものであっても覚悟をもって推進する。「迎合ではなく協調の政治。」
- ・「行政意思の先送りをしない。」先延ばしにせず、やるべきことに期限を定め、説明、執行の責任を果たす。
- ・現場主義と研究力と人間同士の信頼で、任せられる政治を体現する。

政策目標



1. 2025年の町制施行100周年は、町民の皆様、葉山を愛する多くの方々の夢と希望につながる重要な機会と捉える。
2. 母なる海、山を守る。100年後も山で人が遊ばせてもらえるよう、豊かな海が維持できるよう、山を調査し、できることから取り組む。
3. 異常気象、災害の激甚化が当たり前の時代。「日常、いつも通りの暮らしに戻す、助ける」防災、減災に個人、地域、行政。自助、共助、公助それぞれの役割を果たせるよう、有機的な連動、そのための訓練、啓発をつづける。
4. 開発に向き合う。所有者の権利に制限をかけることになる開発・建築計画には、地域にお住まいの皆様と行政と議会が一体となって、相互の理解を得るため努力を重ねる。
5. 公共施設再編・再整備の案をまとめる。いまの地域の声、全体のニーズ、将来のニーズと人口動態、維持管理の紐解き、本当に必要な施設の形、配置を実現する。
6. バスやタクシー、その他様々な公共交通で地域の足づくりを目指す。
7. 町役場の機能強化に取り組む。説明を尽くせる職員であること。RPAやAI活用、機構改革や業務フロー改善を行い、多様化するサービスに応じられる組織であること。
8. 財政規律は、財政収支見通しとそのローリング、そして常時公開で、常に高い緊張感を保持する。

防災安全

災害時の最終判断を任せられたプロとして、最善決断をします
・「葉山町電線地中化計画」の策定へ。

自然環境

「環境貢献が標準の町」ブルーカーボンと林業再生へ
荒れる里山、災害リスクを減らすため山を調査、対策計画、安全管理が必要。里山を守ります。

道路交通渋滞

- ・海岸線、雨の日の駅までなど、交通渋滞は近年の大きな課題です。解消の一手となる南郷北側トンネルの開通、逗葉新道のETC化を経て無料化へ。
- ・バス・タクシー公共交通と連携
- ・バスベイ、バス停に屋根を
- ・皆さんの「足」の確保は最優先課題。



教育

教育は未来への希望

- ・小中連携、一貫教育とコミュニティスクールの推進
- ・学校の環境整備令和7年春に施設整備、学校建て替えの方針を策定。

健康福祉

福祉、健康増進に最先端の知見や技術連携を図ります。
ダイバーシティーと海外から、障がいがある、LGBTQ、すべての人がスムーズに暮らせる町へ。

インクルーシブ

- ・インクルーシブ教育、保育、公園やデザインは基本です。
- ・特性や違いを把握する WISC 検査など、成長の違い、障がいがあってもそれぞれが選択できる町へ。

産業活性

葉山の活性の鍵は一次産業にあり。

農漁林の連携で商工業の活性と町の賑わい。山は海の恋人。日本ヨット発祥の地はみんなが海から見る葉山を知っている、海や山で遊ぶ町へ。

ペット共生

ペット共生社会の実現へ

神奈川県で最も対人口比ワンちゃんの多い葉山。マナー向上の啓発を進め、ペット共生社会の先進自治体を目指します。

土地開発問題

新しいマンション開発や大規模宅地開発の人口増加など、望みません。今のままゆったりと暮らす葉山を愛する人が住民になってください。
けれども日本では、法律の範囲内で権利者が開発、建築を行えます。向き合うには役場だけではなく、地域住民と議会が一つになって守る自治の力が必要。法律や条例を超える葉山の願いを、守りましょう。

外交

世界に認知される「HAYAMA」を目指す

県内33市町村や神奈川県庁、そして中央省庁、民間団体や企業に、これまで培った人脈を活用して、町に最大のメリットのある外交、知財の活用を展開。

公共施設

- ・公共施設の再編計画の確定
- ・子どもが遊べる公園の増設
- ・臨御橋架け替えプロジェクトの完成

行財政運営

- ・町財政の自主自立を目指す
- ・ふるさと納税の充実
- ・笑顔、愛のある職場環境の充実とDX化の推進



真正面からぶつかります!!



東京大学・県立健康福祉大学との包括連携協定